

2016年、新しい年の幕が開きました。新しい気持ちで、今年の目標を掲げた人も多いことと思います。昨年度は、人気の小説やコミックが映像化され、さらに人気が出たものもたくさんありました。読書があまり得意でない人も、そういったところから慣れ親しんでいくのもいいと思います。新しい自分に出会えるチャンスを増やしていこう。

希望図書 リクエスト募集中 !!

ただいま、第3期の希望図書を受け付けています。以前からちょっと気になっていた本、親や先生や友達から薦められている本、本屋さんで大きく紹介されている新書・・・などなど。今年度、最後のチャンス!

カウンター横にあるリクエストカードに必要事項(学年、クラス、氏名、書名、著者名)を記入して、カウンター係の先生に提出するか、リクエストボックスに入れてください。

今月のオススメ ～新着図書より～

最近読んだ本の中から、2つ紹介します。

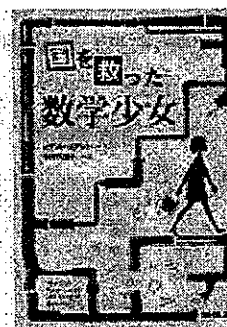
「窓から逃げた100歳老人」 著者 ヨナス・ヨナソン 西村書店

ハラハラドキドキワクワク・・・目が離せません! 時折残酷なシーンや気持ち悪くなるシーンもあるけど、それも、ハチャメチャ老人のアランの手にかかれば、クスッと笑ってすませてしまう。次々と展開する、爆弾コメディ!

現在のスウェーデン国内を逃げ回るストーリーと、20世紀をまるごと描くストーリーが交差しながら進んでいきます。アランの波乱万丈な100年の人生があったからこそ、100歳の誕生日に老人ホームから逃げ出した後の、さらなる波乱万丈な日々が、思いもよらない危機を脱し、たくさんの仲間を作って旅が続いていきます。

悪運の強いアラン。さまざまな国を渡り歩き、さまざまな要人と出会い、危機を乗り越えていきます。ページをめくるたびに、次はどこへ行き、どんな要人に会い、どんな風に危機を乗り越えていくのかなあ・・・と、読者もハラハラドキドキワクワク!!!

そしてまた、このデビュー作で全世界に笑撃を与えたヨナス・ヨナソンが贈る、てんやわんやの大騒動、ハチャメチャ・メガトン級コメディ第2弾「国を救った数学少女」が冬の新着図書として入ってきました。こちら、ぜひ手にとって読



んでみてくださいね。南アフリカの13歳の少女ノンベコと一緒にハチャメチャな旅が楽しめますよ。

「ダメ親と呼ばれても学年ビリの3人の子を信じてどん底家族を再生させた母の話」

著者 ああちゃん、さやか(ビリギャル) KADOKAWA

昨年映画化されて大ヒットとなった『学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話』のビリギャルことさやかの母親、ああちゃんの子育て法やその姿勢、信念、そして生い立ちなどが書かれています。

ああちゃんの口癖、「どんなことにも、必ず意味がある」。ああちゃんの子育て法は、強い自信に溢れていて、強い信念を感じます。それは挫折から這い上がり、立ち直ったああちゃんならではの考え方でもあるのです。

『ダメ親・・・』ではわからなかった、ああちゃんの生い立ち、そしてまた、さやかの弟や妹のことなど、今回の著書では、さらに深くさやかの家庭のことが知ることができます。

この本で学んだこと、それは・・・

人生っていつでも、気づいたときからやりなおしができるんですね!!!



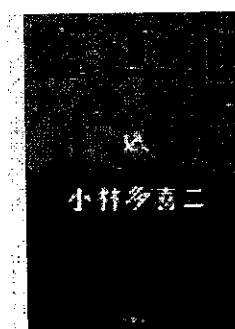
図書委員 今月のオススメ



2年H組 柴田 龍之介

タイトル: 蟹工船 著者: 小林多喜二 出版者: 新潮文庫

まず大抵の場合本の感想などを述べる時は最後には必ず「ぜひ読んでみて下さい」等の言葉を添えるのだがこの本の場合は読むだけで気持ちが悪くなるのでこの言葉は適当ではない。その一つの理由として、この「蟹工船」という本はどこまでも暗いのだ。最初の数ページで人が海に流されて死んでも、気の毒だと思わない利益優先といった人間がでてくる。また数ページ先には、仕事を少しでも休んだりした人がいればその人便所の隣の部屋に連れて行き、死ぬまで放置といったものまで出てくる。とにかく暗く、とにかく読んでいて気分が悪くなる。でも最後には紮内得のいく終わり方になっていて、読んでよかったと思えた。私、メンタルがとて強く、今最高に気分が良ければ読んでみるのもアリなのかもしれない。



12月の図書館利用状況

1年生	2年生	3年生	合計
26人	27人	134人	187人

冬休み期間ということもあって、先月の利用者数は少なかったようですね。3年生は、センター試験を間近に控え、受験勉強をしに来館している人が多く見られます。ガンバレ!! 受験生っ!!